第 15 回
日本教育カウンセリング学会
研究発表大会（兵庫大会）開催要項（２次案内）

大会テーマ

キャリア教育を意識した教育カウンセリング

－ 生涯にわたるキャリア教育を目指して －

会期：2017（平成 29）年 8 月 26 日（土），27 日（日）
会場：大手前大学（さくら夙川キャンパス）
（〒662-8552　兵庫県西宮市御茶家所町 6-42）
主催：日本教育カウンセリング学会
共催：兵庫県教育カウンセラー協会
後援：文部科学省，兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会，
伊丹市教育委員会，NPO 日本教育カウンセラー協会，
一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

１　大会日程・内容

第１日目　8月26日（土）　会場：大手前大学（さくら夙川キャンパス）	
9:00～	受付
10:00～12:00	◆自主シンポジウム（４会場）
公開記念講演・公開シンポジウム	
13:00～13:35	◆開会式（ 会長挨拶など ）
13:45～15:15	◆記念講演(９０分) 演題 **キャリア教育の目的とその意義** **-「今後の成長のために進んで学ぼうとする力」の育成 -** 講師　藤田　晃之　先生（筑波大学 教授）
15:20～17:45	◆公開シンポジウム　各発表２０分、会場交流４５分、途中休憩を含む テーマ　**キャリア教育を意識した幼稚園･小学校･中学校･高等学校での取り組み** **－アクティブラーニングや体験学習を通して－** コーディネーター：豊岡短期大学　教授　伊藤　博　先生 話 題 提 供 者　：兵庫県伊丹市立ありおか幼稚園　森井　綾子　先生 兵庫県神戸市立板宿小学校　隈下　潤　先生 兵庫県伊丹市立笹原中学校　古谷　俊樹　先生 兵庫県立武庫荘総合高等学校　古藪　省二　先生
18:00～20:00	◆情報交換会　＊会場：大手前大学学生食堂 ・各都道府県支部との情報交換　・次年度開催支部の実行委員長挨拶
第２日目　8月27日（日）　会場：大手前大学（さくら夙川キャンパス）	
8:30～	受付
9:00～10:40	◆ポスター発表(１会場)・事例発表(クローズ、３会場)
10:50～12:20	◆ミニ研修会(６会場)・研究発表(オープン、４会場)
12:25～12:55	◆表彰式・全体シェアリング・閉会式（ 次年度開催支部の実行委員長挨拶含む ）

〈詳細日程〉

【自主シンポジウム】8月26日(土)　10:00-12:00

第１会場　笠井 敬祐:　教育カウンセリングの知見や手法を用いた育児・保育支援を考える　パートⅧ
第２会場　大久保 牧子:「チーム学校」実現への養護教諭の役割PartⅡ
第３会場　苅間澤 勇人: 学級経営をうまく進める!－どのような援助が有効か－
第４会場　水上 和夫: 主体的・対話的で深い学びをつくる対話のある授業

【ポスター発表】8月27日(日)　9:00-10:40

奇数番号：前半在籍責任時間(9:00-9:50)　**偶数番号：後半在籍責任時間**(9:50-10:40)

	氏　名	演　題　名
1	中嶌 剛	就職困難者の進路選択とキャリア意識
2	五十嵐 由美	掲示板を利用したキャリア教育の補助的役割
3	伊都 紀美子 木戸 里香	特別支援教育における造形教育アプローチに関する一考察Ⅳ
4	大友 志津子	キャリア教育と道徳教育の視点 ～自尊感情を高める道徳教育の試み～
5	藤井 謙介	特別支援学校高等部における「キャリア教育」の取り組み〈その１〉
6	苅間澤 勇人 河村 茂雄	高校入学期の不安解消の援助－教育困難校の取組みから－
7	柳ヶ瀬栄三郎	「ＱＵがトップダウンで導入された学校での教師支援」
8	越智 泰子	学級力向上プロジェクト
9	松﨑 学	Q-U 満足型学級集団の質の違いに関する探索的研究Ⅸ
10	後藤 玲子	教育相談的対応を重視した学年経営

11	藤田 道子	特別支援学級でアサーティブな表現を磨く
12	大友 秀人	教育分析ＳＧＥでのシェアリング効果②
13	水野 邦夫	一日研修方式の SGE 体験における参加者のプロセスの差異の検討
14	平出 久美子	全校体制で推進する SGE 自校化プランの開発
15	寺澤 久子	手作り絵本を SGE に活用することの有効性について
16	水谷 明弘	進学校における学級集団づくりとＳＳＴの実践報告
17	米田 薫	「キラキラプログラム」による心理教育の展開（1）　小学校全学年で計画的に取り組んだ実践
18	和泉 光則	芥川龍之介「蜘蛛の糸」の心理ゲーム分析－交流分析によるサイコエジュケーションを目指して－
19	高橋 卓郎	ＳＧＥを生かした新教科導入の試み
20	熊谷 圭二郎	勇気づけを活用した無気力な高校生男子との面接事例
21	武蔵 由佳	保育者･教員養成大学における実践力向上を意図したプログラムの効果の検証
22	澁谷 哲宏	教育委員会と関係機関との教育相談を巡る連携について

【事例発表(クローズ)】8 月 27 日(日)　9:00-10:40

※一つの事例発表中に教室の途中出入りはできません。また配布した資料は事例発表後回収します。

(第１分科会)

1.　西村 健：「つなぐ」を意識したキャリア支援について
2.　都築 秀器：教育カウンセラーとしての取組と課題
3.　前川 洋子：低学力学生の特別支援検討～LD かもしれない～

(第２分科会)

1.　佐々木 光江子：LGBT(性的少数者)生徒の進路支援
2.　塩 史子：課題のある生徒が多い学年の 3 年間の取り組み
3.　内野 博之：校内組織による特定児童に対しての継続的な不登校支援

(第３分科会)

1.　中川 好夫：定時制高校で上場企業一般事務に内定･８０社に応募し不採用の学生を内定に導ちびいた
2.　蔵本 敏郎：両親を自殺で喪った生徒のその後
3.　小川 千里：長期欠席の経験を有する大学生への修学と卒業への支援

【ミニ研修会】8 月 27 日（日）10:50～12:20

第１会場　吉川 正剛：スペシフィック SGE としてのグループディスカッション対策講座
第２会場　住沢 佳子：人型シール PSS による児童生徒理解　―予防的カウンセリングとキャリア教育への導入―
第３会場　勝田 みな：夢と希望をかなえるキャリア教育Ⅱ　ーキャリアカウンセリング力の向上をめざしてー
第４会場　水上 和夫：講師のための対話のある授業づくり研修講座
第５会場　米田 薫：誰もが知りたい！担任ができる心理教育プログラム　～キラキラプログラム～
第６会場　齋藤 英男：筆跡(書かれた文字)による就活支援

【研究発表(オープン)】8 月 27 日（日）10:50～12:20

※一つの事例発表中はできる限り教室の途中出入りはしないようにして下さい。

第１会場【　】は各会場の座長

1	【吉澤 克彦】	教職大学院における構成的グループエンカウンターの実施とキャリアアンカーの変化
2	嶋田 清美	社会につながるキャリア教育 ―専門学校におけるキャリア支援の 10 年を振り返る―
3	石丸 裕士	キャリア教育を意識した高専基礎生命化学授業の開発
4	松下 眞治	教科「キャリア教育」（仮称）を想定したカリキュラム開発について－イベント型、日常教育活動（教科・科目）型のキャリア教育を補完するために－

第２会場【　】は各会場の座長

5	高綱 睦美	小学校における企業連携型キャリア教育
6	【八巻 眞治】	キャリア教育を意識した教育カウンセリング―ある公立小中学校の連携をもとに―
7	藤井 謙介	特別支援学校高等部における「キャリア教育」の取り組み〈その２〉
8	平出久美子	児童の自己肯定感を高め，よりよい人間関係を形成する力の育成

第３会場【　】は各会場の座長

9	一色 翼	いじめの仲裁に活かす人型シールPSS　part2 ―PBISの導入―
10	【松浦 賢一】	コミュニケーション能力の育成を図る高１クライシス対応プログラムの調査研究
11	佐々木 聡 浅井 宣光	中高一貫私立中学・高校における保護者ピアサポートの実践
12	和泉 光則	集団内で個々の生徒を見守る目としての交流分析の有用性

第４会場【　】は各会場の座長

12	木次 紫折	言葉を通して仲間とともに伸びていく体育科学習－２年生のマット運動「後ろ転がり」の実践を通して－
13	【栗原ひとみ】	アクティブラーニングによる授業実践についての一考察
14	遠藤 雅子	社会人基礎力を育むプロジェクト型学習-地域課題への取組から見えてきたこと-
15	藤崎 ちえ子	校長・教頭・一般教師の バーンアウト要因としての性格傾向について
16	崎浜 聡	教育実践者における現象学的エポケーを用いた「ビリーフ」の自己制御法について

２．大会参加費と参加申し込み方法

(1) 参加費

費　　目		事前申し込み	当日申し込み	備　考
大会参加費 (論文集１冊の代金含む)	当学会会員	6,000円	7,000円	
	非学会員	8,000円		
	学生（院生を含む）	3,000円		
論文掲載費	ポスター発表	1,500円		先頭発表者のみ
	事例発表(クローズ)	1,500円		先頭発表者のみ
	研究発表(オープン)	1,500円		先頭発表者のみ
	自主シンポジウム企画	8,000円		企画者のみ
	ミニ研修会企画	8,000円		企画者のみ
情報交換会	申込者	5,000円	6,000円	当日は残席分のみ
1日目(26日)弁当代	申込者	1.000円		お茶付き
公開講演・シンポのみ	非学会員	2,000円	2,500円	論文集なし/ 定員まで

(2) 参加申し込み方法

	様　式／方　法	送付先　または　振込先	締め切り
参加申し込み ・参加費	当学会WEBサイト よりダウンロード	当学会HP第15回大会ﾊﾞﾅｰから入る https://amarys-jtb.jp/kyouikukanseringu2017/	2017年7月25日（火）
研究相談会		メールで事前問い合わせ	
記念講演・シンポジウムのみ参加			2017年7月31日（月）会場の定員（360名）になり次第、締め切りとなります。